

# 夜の科学館 ～大人が楽しむ科学館～

事業企画グループ 加藤 香名子

## 概要

「夜の科学館」は、2020年から浜松科学館で月に一度開催している高校生以上限定のナイトミュージアムである。前身にあたるナイトプラネタリウム「よるぞら」から現在まで、大人を対象としたプログラムの活動記録やアンケート調査結果を通して、幅広い人がアクセスできる科学博物館について考察する。

### 1. はじめに

図1の表は「2023年度 浜松科学館年間利用者調査結果」より、回答者の年齢と同行者をクロス集計したものである。回答者（≒浜松科学館利用者）のおよそ60%が、30～40代およびその子供の親子という結果だ。

また、2023年8月に浜松市が市民モニター204人に対し行った「浜松市広聴モニターアンケート」では、浜松科学館に来たことがないと回答した方の「これまで浜松科学館に行かなかった理由」として、「家から遠い」「子供向けの施設だから」という回答が同数で最多である（図2）。「科学館は子どものための施設」という印象が、来館者/未来館者を問わず定着していることがうかがえる。

このような結果に対し、浜松科学館では対象を大人に限定したナイトプログラムを実施し、日頃利用することがあまりない層に向けたアクセスの確保を図っている。以降に、「夜の科学館」を中心とした2019年度以降の当館の取り組みについて述べる。

年齢×同行者	なし	親子	祖父母と孫	友人	配偶者・恋人	団体	その他
小学4～6年生	8	138	9	44	0	1	3
中学生	4	23	1	31	2	2	1
高校生	6	2	1	21	5	0	1
18～29歳	6	9	1	43	27	2	5
30代	6	182	2	8	6	0	3
40代	0	186	3	8	0	1	1
50代	2	16	2	0	1	0	1
60代	4	6	14	0	1	0	0
70歳以上	0	0	7	0	1	0	2

図1：2023年度 浜松科学館年間利用者調査結果（年齢×同行者）

■問4 これまで浜松科学館に行かなかった理由 (n=40) (問1で「2 ない」と回答した方)



図2：浜松市広聴モニターアンケート

### 2. ナイトプラネタリウム「よるぞら」

浜松科学館は1986年に開館し、今年で38年を迎える。常設展とプラネタリウムを備え、青少年の「科学する心」を育む場として設立された。2019年の全面リニューアルより指定管理者が乃村工藝社・SBSプロモーション共同事業体となり、多様なプログラムを展開している。リニューアル初年度である2019年には、要望を受けたことなどをきっかけに、毎週第3土曜に「よるぞら」というナイトプラネタリウムを実施した。通常開館時にも上映していた大型映像「星の旅」と、星空の生解説の二部構成の特別放映である。あまり訪れることのない大人への誘客を目的とした。

よるぞら	
開催日	2019年11月～2020年3月 毎週第3土曜日
時間	18:00～18:55
内容	大型映像「星の旅」+ 星空生解説
来場者数	411人



図3：「よるぞら」ポスター

### 3. 「みらいーら夜の科学館」へ

「よるぞら」は一定数の認知を深めたものの集客としては大きくは振るわず、また、運用する職員からは「プラネタリウムだけでなく、大人に科学館全体を楽しんでもらえないか」という意見が散見されるようになった。このことから「よるぞら」は2020年3月で終了。新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館明けの2020年7月より、常設展に加え、通常開館時のプログラムを大人向けに特別に用意したナイトミュージアム「みらいーら夜の科学館」を始動した。

みらいーら 夜の科学館	
開催日	2020年7月～2023年3月 毎月第3金曜日
時間	17:01～19:30
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展</li> <li>・特別プラネタリウム</li> <li>・特別サイエンスショー</li> <li>・でんけんラボ</li> <li>・ミニワークショップ</li> <li>・ミュージアムショップ</li> </ul>

来場者数	2020年度：2,126人（月平均236人） 2021年度：1,316人（月平均109人） 2022年度：2,724人（月平均227人）  ※2021年10月～2022年2月はプラネタリウム更新工事のため、投映は休止
------	--



図4：「みらいーら夜の科学館」ポスター

プログラムは以下の通りである。

#### (1) 常設展

通常開館時同様、常設展の全展示を稼働。昼間はあまり注目されない、科学技術および地域の偉人を伝える展示を立ち止まって見る人が散見され印象的であった。

#### (2) 特別プラネタリウム「STAR FLIGHT」

毎月異なる国の星空や風景を生解説で届けるトラベルプラネタリウム。番組は職員による自主制作である。コロナ禍による外出自粛も相まって、海外旅行ファンを中心に人気を博した。「パスポート」と称したスタンブカードでオリジナルスタンプを集めてもらう取り組みも好評であった。

### (3) 特別サイエンスショー

大人向けに、普段よりも高度な実験や解説を用意し実施。2022年度には「STAR FLIGHT」で紹介された国に関連したショーを行った。

### (4) でんけんラボ

常設展内にある電子顕微鏡研究室（でんけんラボ）で、職員による電子顕微鏡の実演と解説を行った。観察対象は月毎に異なり、一回10～15人の少人数で開催。

### (5) ミニワークショップ

短時間でできる実験・工作体験。内容は通常開館時と同じものを提供した。

夜の科学館は、月平均およそ200人と多くの来場者を集めた。特に特別プラネタリウム「STAR FLIGHT」が高い人気を得て、毎月の楽しみとして常連となってくださる方も多かった。サイエンスショーやでんけんラボでは、職員と対面で交流しながら、「大人の学びの時間」を楽しんでいる様子が伺えた。その一方で、プラネタリウムで席を確保するため待機列に早くから並ぶ必要があり、展示や他のプログラムを体験することが難しいという声もいただくことがあった。



図5：特別放映「STAR FLIGHT」



図6：特別サイエンスショー

## 4. 毎月のテーマ制に

「全てのプログラムに参加しやすくするにはどうしたらいいか」といった議論から、2023年度より毎月共通のテーマを設け、それに沿った内容を全プログラムで展開することで、館全体で一体的に学びを深めてもらいやすい企画構成に更新することとした。

17時から来館される方と18時から来館される方のそれぞれが全てのプログラムを体験できる行程を組み、公式SNSで告知したほか、当日入口に「本日のメニュー」の掲示を行った（図9）。テーマ設定にあたっては利用者にアンケート調査を行うなどし、大人の興味・関心を引き出すような項目を選出した。合わせて、開催時間を30分延ばしたうえ、運営事業者協力のもとカフェの営業も行い、余韻を楽しんだり、夜の時間を過ごしたりできるようにした。また運用面では、待ち時間が解消されるようプラネタリウムに整理券制を導入した。

夜の科学館 2023	
開催日	2023年4月～2024年3月 毎月第2金曜日
時間	17:01～20:00
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・常設展</li><li>・特別プラネタリウム</li><li>・特別サイエンスショー、サイエンストーク</li><li>・でんけんラボ</li><li>・展示ツアー</li><li>・ミニワークショップ</li><li>・ほか実験・観察会など</li><li>・ミュージアムショップ</li><li>・カフェ</li></ul>
テーマと来場者数	4月「歴史」(146人) 5月「世界」(123人) 6月「性」(206人) 7月「食」(118人) 8月「光」(263人) 9月「いにしえ」(164人) 10月「音楽」(143人) 11月「体」(161人) 12月「空」(155人) 1月「旅」(120人) 2月「テクノロジー」(101人) 3月「暮らし」(112人)  年度総来場者数：1,810人



図7：「夜の科学館 2023」ポスター



開催日	テーマ	時間	対象
4/14	星と家康	18:00~18:15	高校生以上
5/12	高校から世界を感じよう	18:00~18:30	高校生以上
6/9	神話と科学で語る性の形	17:00~20:00	高校生以上

図8：「夜の科学館 2023」フライヤー



図9：入口の掲示

(1) 常設展

全展示を稼働。以前より若年のカップルや高校生が増加したように感じた。体験型展示を一緒に楽しんでいる様子が見られる。



図10

(2) 特別プラネタリウム

毎月のテーマに沿った特別番組を放映。その日に見える星空の解説とテーマ解説の二部構成で、職員が45分間生解説する。番組は夜の科学館専用に新たに制作したものと、過去の番組のリバイバル（リメイク）放映を混合している。4月の「星と家康」や、3月の「星よりも、遠くへ」は、別の日に対象を限定しない一般放映も実施した。



図11

(3) 特別サイエンスショー、サイエンストーク  
 専用の機器を用いた、普段よりも高度な実験や解説を行うサイエンスショーや、職員による専門性の高いサイエンストークを実施。特に「性」をテーマとした際には、生物の生殖の種類から性のもつ多様さを解説し、多くの来場者の関心を引いた。



図 12

(4) でんけんラボ  
 一部のテーマの回では、note 企画「浜松ミクロ散歩」で協力をいただいた市内企業・団体の提供する地域の特産物を拡大観察。地域資源の新たな見方を提供している。



図 13

(5) ミニワークショップ  
 過去に開催したミニワークショップの内容を大人向けにアレンジしたものや、限定の工作を用意。完成後も手元に置いておきたくなる仕上がりとなるよう意識している。



図 14

(6) 展示ツアー  
 テーマと関連性のある常設展5つのゾーンそれぞれで職員が展示ツアーを開催。展示の伝える科学原理や相关性、浜松の歴史や文化との関わりを解説した。



図 15

(7) ほか実験体験会など  
 一部のテーマの回で、浜松と綿花の歴史を伝える紙芝居や胚の発生の顕微鏡観察、ギムネマ茶体験といった観察・実験会を開催。



図 16

### (8) ミュージアムショップ

テーマに沿った商品を集めて販売。テーマ「身体」の際の「癒し快眠グッズ」は特に反響が大きかった。昼間の人気商品である宇宙食なども購入される方が多かった。



図 17

### (9) ブログによる発信

2023年度より、公式ウェブサイトのブログで毎月の夜の科学館の内容を公開している。プログラムの担当者がそれぞれの項目を執筆。ウェブ上でオープンにすることで、広く周知・活用されることを意図している。



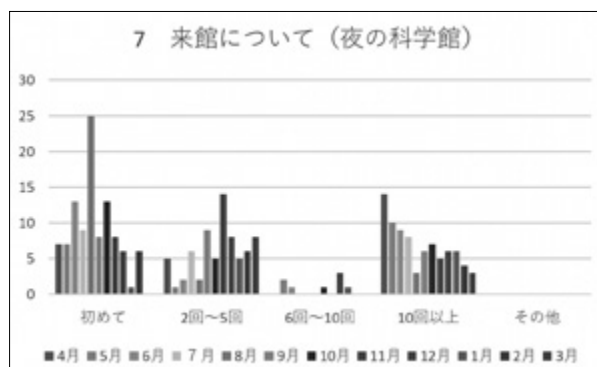
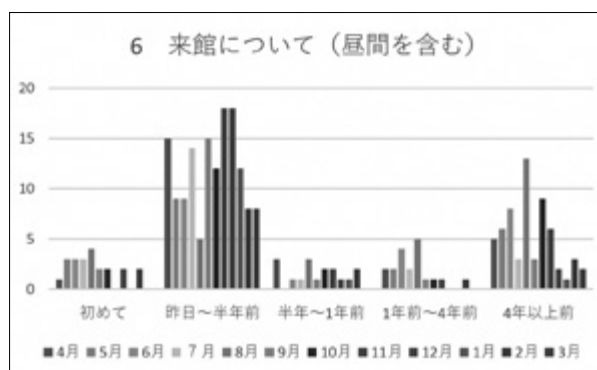
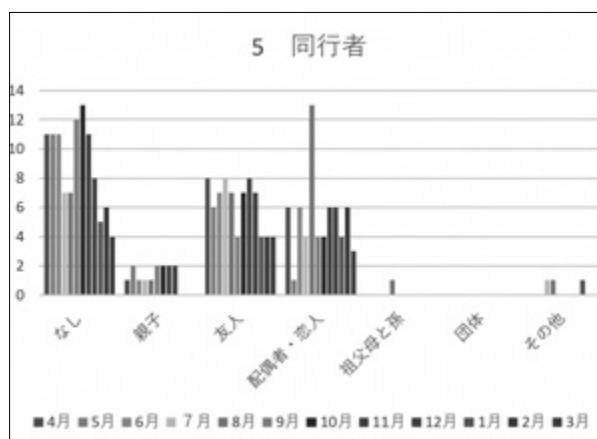
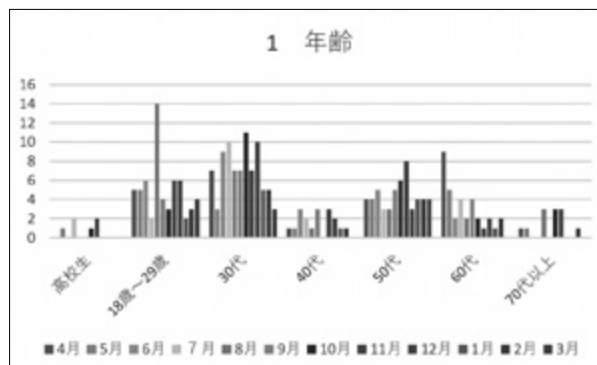
浜松科学館ブログ

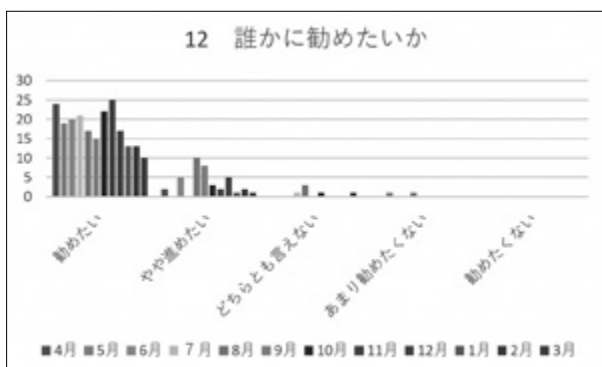
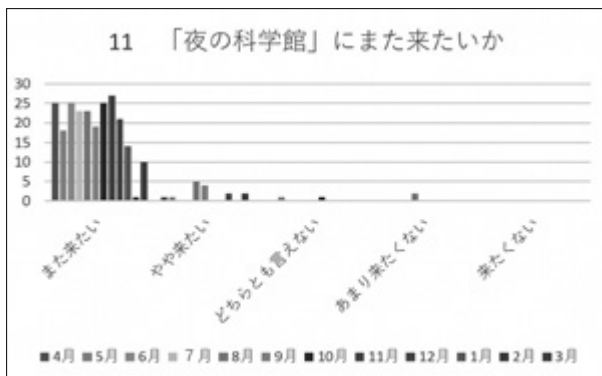
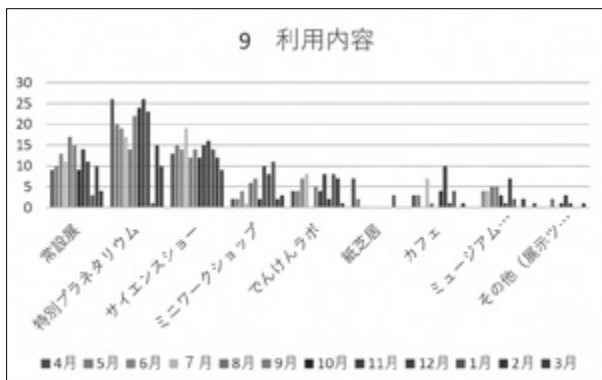
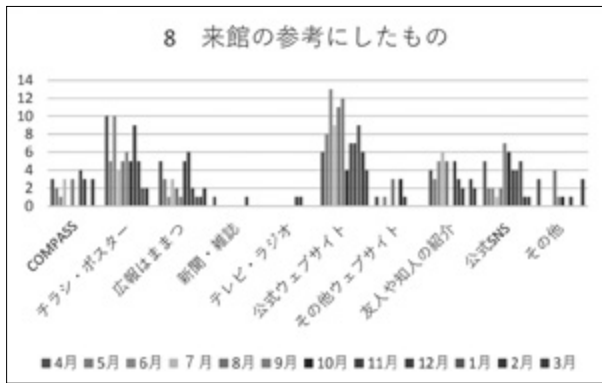
プラネタリウムが整理券制となって、すべてのプログラムを回る余裕ができたという声をアンケートで多くいただいた。展示ツアーなどの内容も充実し、体験の幅が広がったようである。また、夜の科学館ファンの方、テーマに関心のある方、夜の時間をゆっくり過ごしたい方…など、来館者の夜の科学館への関わり方がより多様になったように感じている。

## 5. 来館者アンケートから

2023年度より、夜の科学館の来館利用者に対し毎回用紙によるアンケートを実施している。年間の集計結果は以下の通りである（一部抜粋）。

n=256





全結果は P.56「資料」に掲載

利用者属性としては「30代」「同行者なし」が最も多い。図1の表では一桁台の人数であったことから、夜の科学館が普段とは異なる利用者層の呼び込みに成功していると考えられる。利用内容は常設展、プラネタリウム、サイエンスショーを中心に、ミニワークショップやでんけんラボなど、まんべんなく参加いただいている。また「科学館への来館はいつ以来ですか（昼間を含む）」の設問では「初めて」「4年以上前（2019年度の全面リニューアル以降初めて）」と回答した方が全体の32%であり、来館のきっかけとしても一定数関与していると考えられる。広報面では、フライヤーおよびポスターでの告知が、反響が大きいようである。

自由記述では「ちょっとした非日常を味わえてリフレッシュできる」「特別な時間を味わえた」という回答が印象的であった。「科学館（ミュージアム）で過ごす」という行為が、日常から切り離され、癒しとしても機能していることがうかがえる。その他、「子どもに遠慮しないための時間ではなく、初めて“大人のための時間”だった。（テーマ：性）」「科学館は比較的孩子が来るイメージがあるけれど、大人向けのテーマを体験すると、科学が身近に感じられる」など、「大人のための時間」に価値を見出している回答もいくつか見られた。

要望としては「時間を延長してほしい」「土日にも開催してほしい」という、開催日時や回数に関する回答が目立った。

## 6. 今後の展望

夜の科学館は、4章でも少し触れたような「関わりの幅」を広げていくことがひとつの展望であると感じる。ボランティアや外部協力者などと共働した、多様な視点を取り入れたプログラムやしぐみを用意していくことや、運用者である我々が、科学館や科学の固定的なイメージを見つめ直し、その枠を超えた幅広い科学（science）を届けていくことで「大人が楽しむ科学館」が醸成されてくるのではないかと考える。

職員は毎回、より多くの大人がミュージアムや学びを楽しめるよう、創意工夫を積み重ねている。この積み重ねを大切にしながら、より良いあり方を探ることができればと思う。反面、持続的な運用には職員に負荷

がかかりすぎないことが不可欠であり、企画とのバランスを保つことを課題として意識したい。

## 7. おわりに

「アクセシビリティ」という言葉がある。「近づきやすさ」「利用のしやすさ」といった意味で使用されることが多い。デジタル庁の発行する「ウェブアクセシビリティ導入ガイドブック」には以下の記述がある。

“アクセシビリティと聞くと、障害者の方向けの対応をすることというイメージを持つ人が多いかもしれませんが。しかし、老眼で文字が読みにくくなることもアクセシビリティの問題ですし、地方の人にとって東京にある府省庁が発行する情報にアクセスしづらいことも、アクセシビリティの問題です。「アクセシビリティ」という単語は、Access（近づく、アクセスする）とAbility（能力、～できること）に分けることができます。「近づくことができる」「アクセスできること」という意味から派生して、「（製品やサービスを）利用できること、またはその到達度」という意味でも使われます。”

ミュージアムのアクセシビリティを考えると、「アクセスできていない人は誰か」を想定していくことが、アクセシブルな施設に近づく第一歩かもしれない。夜の科学館は、多様なアクセスの一つとして、今後も更新を加えながら継続していきたい。



# 2023年度 夜の科学館 展示解説ツアーの実施

事業企画グループ サイエンスチーム 水谷 穂波

## 概要

夜の科学館は月に一度、高校生以上を対象に開館時間を延長し、プラネタリウムの投影やサイエンスショーなどを行う大人向けのイベントである。子どもが多い通常の開館時間とは異なり、科学的に少し踏み込んだ内容のプログラムを実施している。2023年度は月ごとに設けたテーマに合わせた、さまざまなプログラムを実施した。今年度初めて開催した、大人向けの展示解説ツアーについて紹介する。

### 1. はじめに

当館の利用者の多くは小学生や未就学児とその家族である。通常開館時は、来館者層に合わせたサイエンスショーやミニワークショップ、その他イベントを実施し、来館者の満足度を高めることができている。プラネタリウムを観覧に来る大人のみ来館者は一定数いるものの、イベントやサイエンスショーなどに参加する方の割合は少ない。

夜の科学館は、大人の方に少し踏み込んだ科学の話や落ち着いた雰囲気でのプラネタリウムを楽しんでいただくことで、科学に興味を持ち、身近に感じていただくことを目的とした事業である。2023年度は、月ごとに「歴史」や「世界」といったテーマに関連したサイエンスショーやプラネタリウム、展示解説などのプログラムを実施し、科学とのつながりを伝えた。

巡った。ストーリーブックの内容に加えて、各月のテーマに関連する展示物の原理などを解説した。また、ツアー参加者に解説を補足する資料を配布した。短時間では伝えきれない部分を資料にすることで、後から見返すことができ、深く理解していただけることをねらいとした。

8月11日	光（テーマ：光）
9月8日	自然（テーマ：いにしえ）
10月13日	音（テーマ：音楽）
12月8日	宇宙（テーマ：空）
2月9日	力（テーマ：テクノロジー）

### 2. 展示解説ツアーの概要

当館の常設展示は自然、力、音、光、宇宙をテーマとした5つのゾーンに分けられており、浜松の自然や産業に密接に関連する科学技術を展示している。展示と浜松のつながりを伝える「浜松科学館展示ストーリーブック」をもとに展示室を巡ることで浜松の産業の成り立ちを知ることができる展示構成となっている。

展示物のほとんどがハンズオン展示であり、来館者が自由に実験できる道具なども設置している。体験を通して科学原理を感じられる一方で、原理の解説を見るためにはアプリを使用する必要があるため、利用者は少数である。

夜の科学館では、各展示ゾーンと関連の深いテーマの月に、展示室を巡る展示解説ツアーを実施した。予約は不要で、参加希望者と共に15分程度で展示室内を

### 3. 各ゾーンの解説内容

#### 自然ゾーン

テーマ「古：今に繋がるムカシを掘り出そう」

自然ゾーンでは浜松の地形の成り立ちや、多様な環境とそこに生息する生物について学ぶことができる。温暖で水はけのよい気候は綿花の栽培に適しており、繊維産業が発展したきっかけとなっている。

浜松北部の根堅遺跡からは、約2万年前のヒトの化石が見つかった。この化石は、現在発見されている本州最古のヒトの化石である。また、中央区にある蜷塚公園からは、シジミや埋葬された人の化石が見つかっており、太古から浜松に人々が生活していたことがわかっている。

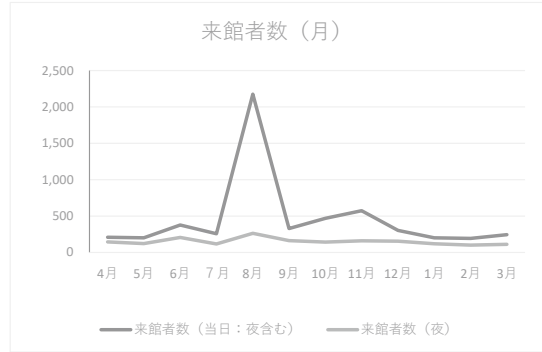
環境ウォールやアクティブリサーチデスクを使用して、浜松の環境や生き物を詳しく調べることができる。

資料

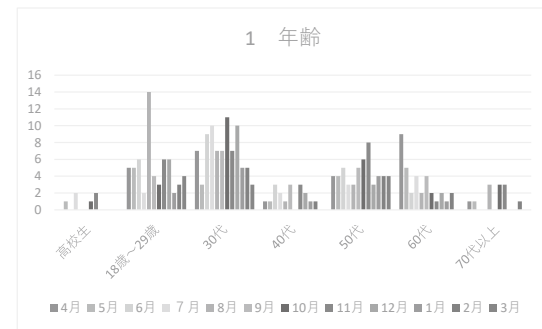
【1-1】 2023 年度 夜の科学館アンケート集計

来館者数等

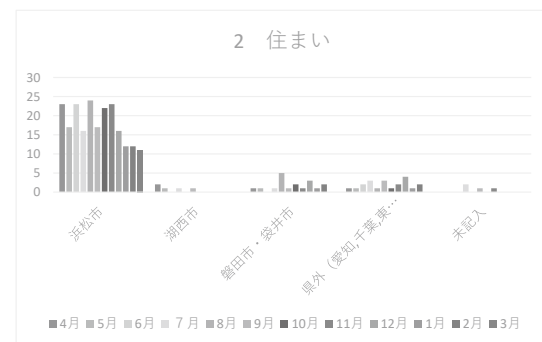
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
来館者数（月）	13,100	11,677	10,020	17,553	34,209	11,778	11,195	11,261	9,375	11,056	13,471	19,520
来館者数（当日：夜含む）	208	202	378	258	2,175	328	469	574	304	202	193	245
来館者数（夜）	146	123	206	118	263	164	143	161	155	120	101	112
夜の科学館%	70%	61%	54%	46%	12%	50%	30%	28%	51%	59%	52%	46%
常設展のみ入場者数（夜）	6	6	20	9	78	16	12	8	17	8	6	12
	4%	5%	10%	8%	30%	10%	8%	5%	11%	7%	6%	11%
プラネタリウム観覧者数（夜）	140	117	186	109	185	148	131	153	138	112	95	100
	96%	95%	90%	92%	70%	90%	92%	95%	89%	93%	94%	89%
アンケート回答者数	27	20	25	23	30	23	26	27	23	14	16	11



1.ご年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
高校生	0	1	0	2	0	0	1	2	0	0	0	0
18歳～29歳	5	5	6	2	14	4	3	6	6	2	3	4
30代	7	3	9	10	7	7	11	7	10	5	5	3
40代	1	1	3	2	1	3	0	3	2	1	1	0
50代	4	4	5	3	3	5	6	8	3	4	4	4
60代	9	5	2	4	2	4	2	1	2	1	2	0
70代以上	1	1	0	0	3	0	3	3	0	0	1	0

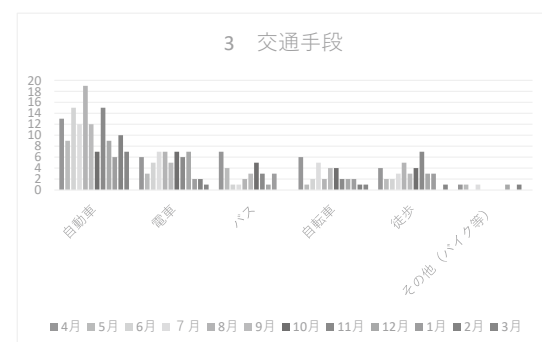


2.お住まい	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
浜松市	23	17	23	16	24	17	22	23	16	12	12	11
湖西市	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
磐田市・袋井市	1	1	0	1	5	1	2	1	3	1	2	0
県外（愛知,千葉,東京）	1	1	2	3	1	3	1	2	4	1	2	0
未記入	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0

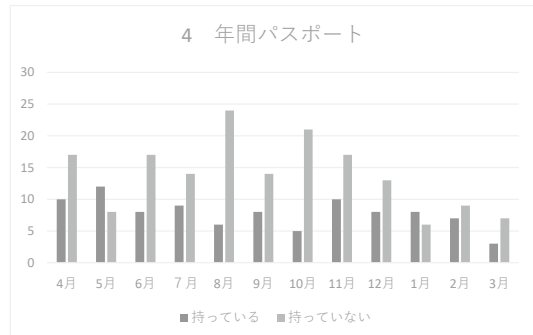


複数回答可

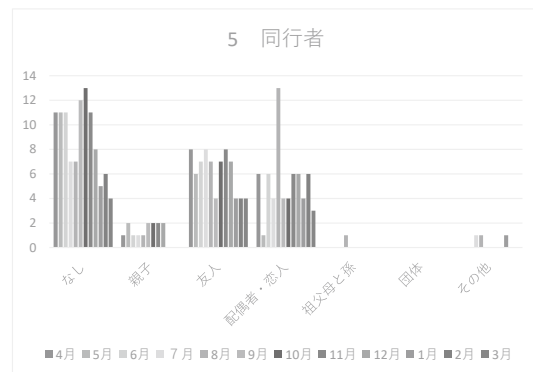
3.交通手段	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自動車	13	9	15	12	19	12	7	15	9	6	10	7
電車	6	3	5	7	7	5	7	6	7	2	2	1
バス	7	4	1	1	2	3	5	3	1	3	0	0
自転車	6	1	2	5	2	4	4	2	2	2	1	1
徒歩	4	2	2	3	5	3	4	7	3	3	0	1
その他（バイク等）	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0



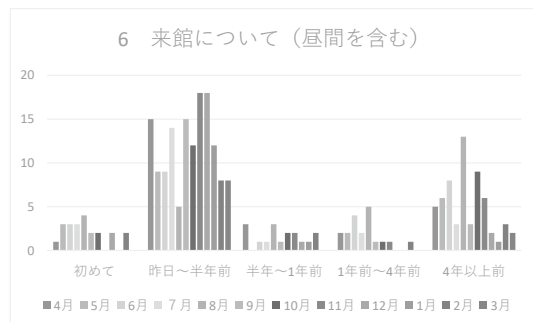
4.年間パスポート	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
持っている	10	12	8	9	6	8	5	10	8	8	7	3
持っていない	17	8	17	14	24	14	21	17	13	6	9	7



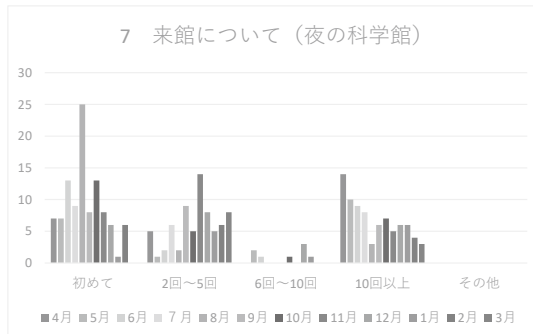
5.同行者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
なし	11	11	11	7	7	12	13	11	8	5	6	4
親子	1	2	1	1	1	2	2	2	2	0	0	0
友人	8	6	7	8	7	4	7	8	7	4	4	4
配偶者・恋人	6	1	6	4	13	4	4	6	6	4	6	3
祖父母と孫	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0



6.来館 (昼間を含む)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
初めて	1	3	3	3	4	2	2	0	2	0	2	0
昨日～半年前	15	9	9	14	5	15	12	18	18	12	8	8
半年～1年前	3	0	1	1	3	1	2	2	1	1	2	0
1年前～4年前	2	2	4	2	5	1	1	1	0	0	1	0
4年以上前	5	6	8	3	13	3	9	6	2	1	3	2

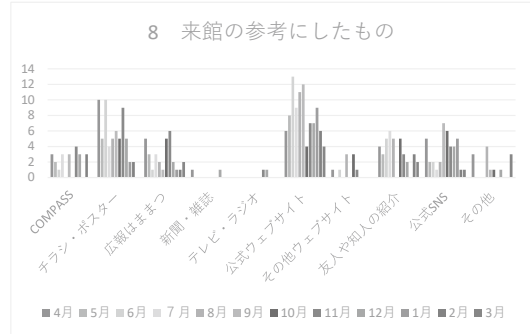


7.来館 (夜の科学館)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
初めて	7	7	13	9	25	8	13	8	6	1	6	0
2回～5回	5	1	2	6	2	9	5	14	8	5	6	8
6回～10回	0	2	1	0	0	0	1	0	3	1	0	0
10回以上	14	10	9	8	3	6	7	5	6	6	4	3
その他												

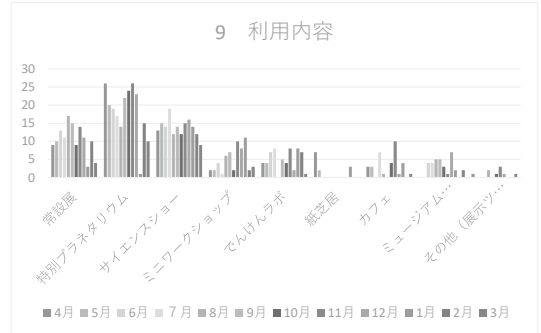


複数回答可

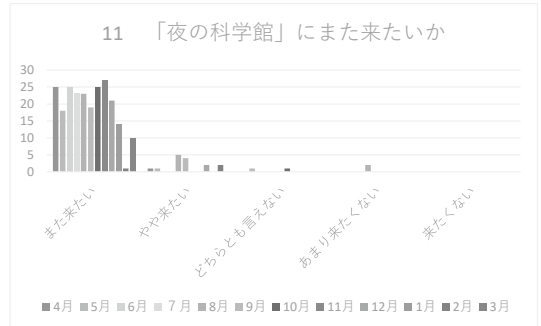
8.来館の参考	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
COMPASS	3	2	1	3	0	3	0	4	3	0	3	0
チラシ・ポスター	10	5	10	4	5	6	5	9	5	2	2	0
広報はままつ	5	3	1	3	2	1	5	6	2	1	1	2
新聞・雑誌	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
テレビ・ラジオ	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
公式ウェブサイト	6	8	13	9	11	12	4	7	7	9	6	4
その他ウェブサイト	1	0	1	0	3	0	3	1	0	0	0	0
友人や知人の紹介	4	3	5	6	5	0	5	3	2	0	3	2
公式SNS	5	2	2	1	2	7	6	4	4	5	1	1
その他	3	0	0	0	4	1	1	0	1	0	0	3



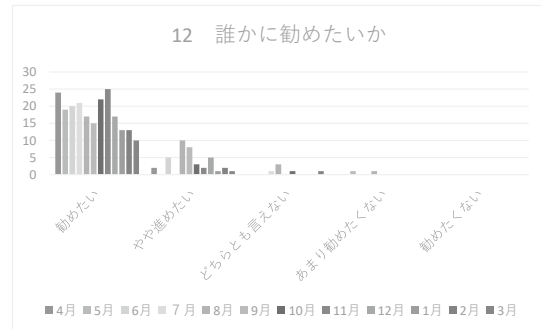
9.利用内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常設展	9	10	13	11	17	15	9	14	11	3	10	4
特別プラネタリウム	26	20	19	17	14	22	24	26	23	1	15	10
サイエンスショー	13	15	14	19	12	14	12	15	16	14	12	9
ミニワークショップ	2	2	4	1	6	7	2	10	8	11	2	3
でんけんラボ	4	4	7	8	0	5	4	8	2	8	7	1
紙芝居	7	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
カフェ	3	3	0	7	1	0	4	10	1	4	0	1
ミュージアムショップ	0	0	4	4	5	5	3	1	7	2	0	2
その他（展示ツアーなど）	1	0	0	0	2	0	1	3	1	0	0	1



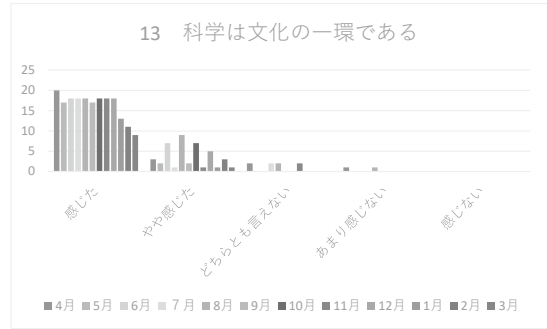
11 再来館意欲	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
また来たい	25	18	25	23	23	19	25	27	21	14	1	10
やや来たい	1	1	0	0	5	4	0	0	2	0	2	0
どちらとも言えない	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
あまり来たくない	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
来たくない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



12 「夜の科学館」推奨度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
勧めたい	24	19	20	21	17	15	22	25	17	13	13	10
やや勧めたい	2	0	5	0	10	8	3	2	5	1	2	1
どちらとも言えない	0	0	0	1	3	0	1	0	0	0	1	0
あまり勧めたくない	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
勧めたくない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



13 「科学は文化の一環である」	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
感じた	20	17	18	18	18	17	18	18	18	13	11	9
やや感じた	3	2	7	1	9	2	7	1	5	1	3	1
どちらとも言えない	2	0	0	2	2	0	0	2	0	0	0	0
あまり感じない	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
感じない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



	ご意見・ご要望
全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラネタリウムを観た後、ゆっくりショップに寄るくらいの時間があると嬉しいです。</li> <li>・21:00くらいまで開館していると嬉しいです。</li> <li>・入場の際、失礼な対応をされて驚いた。目の前には誰もいないのに、チェーンで囲まれた入り口通路から入り直すと言われた。足や目が悪いシニアだが、残念に思った。</li> <li>・入口に入ってからすぐに声をかけてほしい。</li> <li>・HPなどで事前情報を得やすくしてほしい。</li> <li>・勧めたいけれど、チケット販売や各コンテンツの時間は考えたほうがいい。バタバタだった。(8月)</li> <li>・並ぶ時の案内がひどかった。チケットのシステムの説明をもう少し分かりやすくしてほしい。(8月)</li> <li>・チケットが複雑すぎる。結局、プラネタリウムが見られなかった。</li> <li>・仕事が18時までなのでなんとかは入れましたが、もう少し余裕がほしい。19:30~とか</li> <li>・開催回数ももう少し多いと嬉しい。土日の開催は不可ですか？</li> <li>・時々でも土日の夜に開催していただけたら嬉しいです。社会人でも来やすいと思います。</li> <li>・混雑具合や始まる前に並んでもいいことを知らずに来てしまった。</li> </ul>
チケット・発券	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18:50の入場チケット発券の時間を18:00にしてほしい</li> <li>・プラネタリウムをインターネットで予約したい。もしくは次月分の予約を受け付けてほしい。</li> <li>・Webチケットがあると良い。</li> <li>・並んだのに、プラネタリウムのチケットが買えない人がいないようにしてほしい。(8月)</li> <li>・プラネタリウムだけの利用もできると良い。</li> <li>・チケット売場近辺の行列で、最後尾の案内を再考してほしい。(8月)</li> <li>・整理券(チケットのことか?)の配布時間をもう少し早くしてほしい。(8月)</li> <li>夜の時間にもかかわらず、待ち時間が長いので検討してほしい。(8月)</li> </ul>
事業全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30年くらい前に初めて来たが(当時は地元浜松を離れていた)いつまでも「新しさ」を失わないでほしい。</li> <li>・インスタ等SNSで情報を見ることが多いので、本日のプログラムやカフェの出店などバツと見られると嬉しい。</li> <li>・ミニワークやでんけんラボの様子がHPやSNSで見られたらいいと思います。</li> </ul>
プラネタリウム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラネタリウムの回数を増やしてほしい。</li> <li>・以前のようにプラネタリウムを二部制にしてほしい。</li> <li>・上映の回数を増やせば、もっといろいろな人来てもらえると思う。</li> <li>・特別プラネタリウムだけでなく、普通のプラネタリウムも夜見られるようにしてほしい。</li> <li>・プラネタリウムドーム内が暑いので、もう少し涼しくしてほしい。</li> <li>・当日の星空、全体について説明があったら良い。</li> <li>・オーロラのプラネタリウムなど再上映してほしいです。</li> <li>・今日のように特別感があると、人に勧めたくなる。(6月)</li> <li>・プラネタリウムはきれいだったが、内容が難しすぎた。</li> </ul>
展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展の展示物を常にメンテナンスしてほしい。(動かない時や故障しているときがあったので)</li> <li>・特別展ツアーの案内が分かりにくく、お客さんを誘導できていないように見えた。</li> <li>・以前より明るく展示も分かりやすくなってしたが、展示品が少なくなっていたので、遊ぶものが少なくなって残念に感じた。</li> </ul>
でんけんラボ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーカーがこもっていて声が聞きづらかった。</li> <li>・でんけんラボの開設時に、パネルなどで字を表記しながら説明してもらえたらもっと分かりやすいと思う。専門用語は口頭では伝わりにくい。</li> </ul>

感想
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回来るたび、改善されていたり、よりよくなっていて楽しいです。</li> <li>・校外学習以来来ていないという人にすすめたい。</li> <li>・子どもに遠慮しないための時間ではなく、初めて「大人のための時間」だった。</li> <li>・科学館は子ども向けでないことを伝えたい。</li> <li>・高校ですすめているけど、なかなか行ってくれないですね・・・</li> <li>・ちょっとした非日常を味わえてリフレッシュできるから</li> <li>・仕事帰りの金曜にほっとして帰れる企画だから</li> <li>・月に一度来られるのが、ちょうど良い頻度で、とても大切な恒例イベントになっている。</li> <li>・すいてるからいい。</li> <li>・スタッフの皆さんも気持ちがよく、今後も他地域の方々に自慢します。</li> <li>・すでに何人かにすすめています。楽しいし学べるので。</li> <li>・知っていることでも、改めていろいろなことと関連して説明を受けると理解が深まる。身近な天浜線を別の角度から知ることができて面白かった。</li> <li>・みなさん親切にしてください、ありがとうございました。</li> <li>・企画がとてもいいです。</li> <li>・また次年度も、大人が楽しめる時間をくださいませ。お願いいたします。</li> <li>・科学館は比較的孩子が来るイメージがあるけれど、大人向けのテーマを体験すると、科学が身近に感じられる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・整理券を配布して、プラネタリウムに並ぶ必要が無くなったのは素晴らしい改善だと思う。</li> <li>・整理券になって良かった。並んでいる時間があったくないと思っていたから。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ別とても良いです。</li> <li>・テーマがおもしろい。時間もちょうどよく、楽しめた</li> <li>・待ち時間がないような形でスケジュールが組まれていてとても良かった。</li> <li>・スタッフさんがプラネタリウムの時間を気にしてくれていて、好感がもてる。</li> <li>・身近にあるもののおもしろさを改めて発見することや、星空を観る楽しさを知らせたい。</li> <li>・毎週違ったテーマだけど、始めていく人も安心して行きやすい。</li> <li>・毎月おもしろい！が見つかって楽しいです</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めてミニワークショップを体験しました！気軽に参加できる内容で楽しかったです。</li> <li>・スタッフの方がこまめに様子を見に来てくれるのでやりやすかったです。</li> <li>・サイエンスショーで科学館の施設そのものや、常設展示に焦点があたった内容で面白かったです。</li> <li>・ミニワークショップ 細かい準備がして会ってすごい。親切におしえていただき、ありがとうございました。かわいなお雛様ができてうれしかった。</li> <li>・アプリを通して、撮影・録画ができるシステムがよかったです。また来ます。</li> <li>・スタッフさんの手作りのもの。サイエンスショーの工作物。今日も工夫が見られて楽しかったです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの意見を取り入れてくれて、知らない星座の豆知識を教えてもらったのがよかった。</li> <li>・通常とは異なる内容で行われているプラネタリウム。生解説は貴重です。</li> <li>・今日のプラネタリウムはスターフライトを思い出し、懐かしく感じました。</li> <li>・プラネタリウムのプロキオンのお話が切なくて目が覚めました。</li> <li>・星座にまつわる裏話を聞くと解像度が高まります。記憶したい。</li> <li>・年末年始にイタリアに行ったばかりで、いろいろ思い出しながら見ました。</li> <li>・天文学の話題に触れることができたのがありがたかった。</li> <li>・プラネタリウムがきれいだった。前よりもはっきり見えた。</li> <li>・初めてのプラネタリウムだったのですが、想像以上だった。</li> <li>・すばらしいプログラムでした。テレビや映画ではなく、プラネタリウムドームで見られて良かった。</li> <li>・映像作品としての構成やメッセージが素晴らしく心に響きました。星や宇宙は人間が知覚できないほど大きなもので、だからこそ常に変わらず、そこにあり続ける。常にあり続けるものに私たちは心を託し支えられるのだと思いました。「地震や津波は自然現象で、災害ではない」この言葉に深く共感するとともに、自然現象を「災害」にし、痛み悲しむのは人間であるからでしかし、自分も人間なんだと少し新しい気持ちになりました。</li> <li>・事前に調べることなく来館したため、プラネタリウムを見て3.11に近いことに気付き、ハッとしました。テレビのニュースで見ることはあっても、いまだにどこか遠いところの話のように感じている自分もいて、当時の状況を思い返すことで得られる思いなどを共有できました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示ツアーに参加。何度も来館しているが、自分一人では手持ち無沙汰になるので、こういう解説は嬉しい。</li> <li>・常連の方が、展示ツアー後に電気自動車の話をしてくださったのも楽しかった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事終わり、簡単な軽食が食べられて良かったです。</li> <li>・特別な時間を味わえます。久々にカフェも利用しました。パンもおいしかったです</li> </ul>